

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針で公開の求められる研究

いずれも特定の個人を識別できないようにした試料・情報を利用した研究です。
これらの研究は、倫理審査委員会にて審査され、承認を受けたうえでおこなわれています。

また公開情報については、今後随時、追加・更新いたします。

倫理審査承認番号	G24917
倫理審査委員会名称	大阪大学医学部附属病院 観察研究等倫理審査委員会
研究期間	2024年9月2日～2030年3月31日
研究の名称	肝疾患、悪性腫瘍に対する血液リスク診断マーカーの臨床応用に関する探索・検証
研究責任者	株式会社プロトセラ 代表取締役社長 立木秀尚
試料・情報の提供元	国立国際医療研究センター 国府台病院 バイオバンク
利用するものの範囲	株式会社プロトセラ（代表取締役会長 奥田豊）、株式会社特殊免疫研究所（試料測定のみ）
利用する資料・情報等	血清検体、対象者基本情報、疾患情報、臨床検査値、投薬情報、検体採取保存条件等
提供の目的	肝臓は沈黙の臓器といわれ、肝障害時に自覚症状が乏しく、発見時には肝臓の病気が進行していることがあります。健康診断や人間ドックで測定される肝機能検査値とあわせて肝機能に関して早期の肝疾患の状態であらうとできる血液検査が実現できれば、簡便な検査で早期に肝臓の疾患のリスクを確認し、生活改善によって肝臓の状態改善を図ることができ、多くの人のQOL向上へつながると期待されるため、本研究を行います。
研究内容	肝疾患の患者血清を用いて、すでに承認されている体外診断用医薬品が健康診断で早期肝疾患リスク検査としての有用性を評価するための研究を行います。